



2022年3月期 第2四半期
決算説明会

東京インキ株式会社

(証券コード：4635)

2021年11月25日開催

1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. 業績予想に対する進捗状況
4. 連結貸借対照表
5. 株主還元情報
6. 設備投資状況について
7. 次期中期経営計画について



くらしに豊かな色を

くらしを支える確かな製品をお届けします

■ 1. 連結業績ハイライト

2. セグメントの概況

3. 業績予想に対する進捗状況

4. 連結貸借対照表

5. 株主還元情報

6. 設備投資状況について

7. 次期中期経営計画について

> 22年3月期第2四半期 業績ハイライト

> 22年3月期第2四半期 四半期業績推移

インキ事業及び化成品事業は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から需要の一部回復により増収増益、加工品事業は主力の土木資材が災害復旧需要の落ち着きで若干減収となるも、全社的な経費節減等コストダウン効果もあり増収増益

(単位：百万円)



売上高

20,213百万円

前年同四半期比 **+2,437**百万円 (+13.7%)

業績予想比 **▲436**百万円 (▲2.1%)

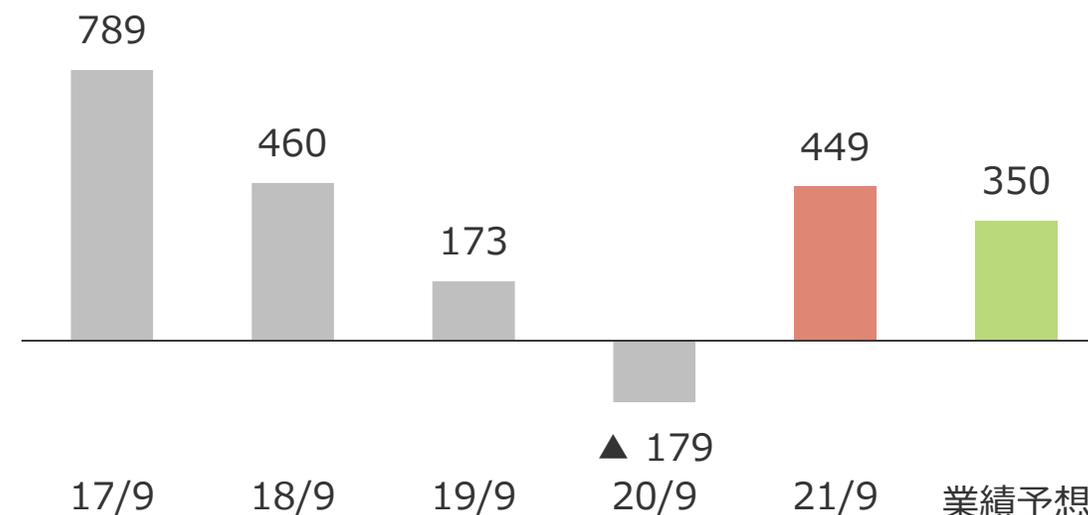
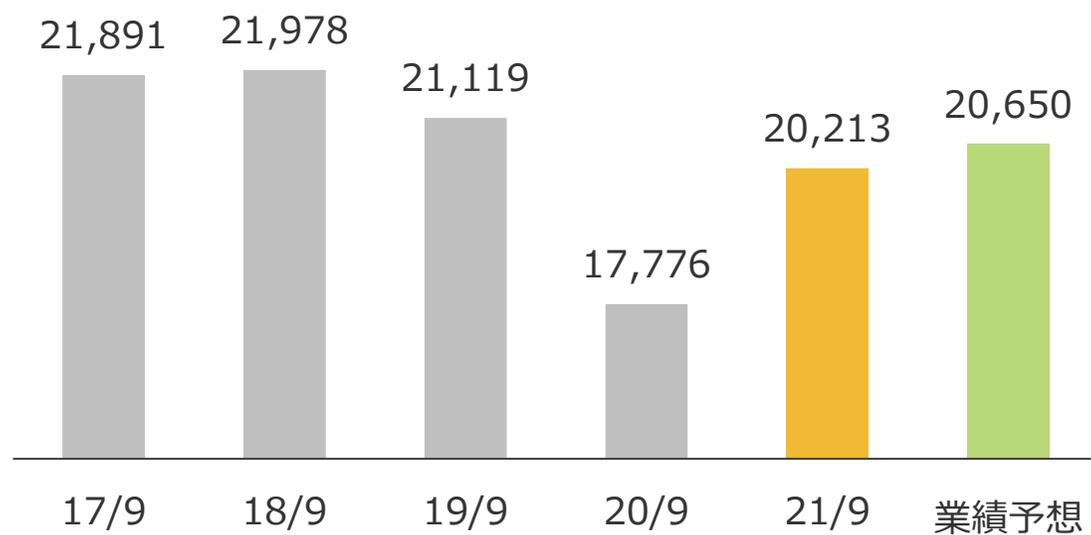


営業利益

449百万円

前年同四半期比 **+628**百万円 (—%)

業績予想比 **+99**百万円 (+28.3%)



(※)

(※)

※21年5月19日公表 第2四半期(累計)業績予想値

経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益も、営業利益同様前年同四半期比で大幅な増益

(単位：百万円)



経常利益

515百万円

前年同四半期比 **+530**百万円 (**—%**)

業績予想比 **+105**百万円 (**+25.8%**)

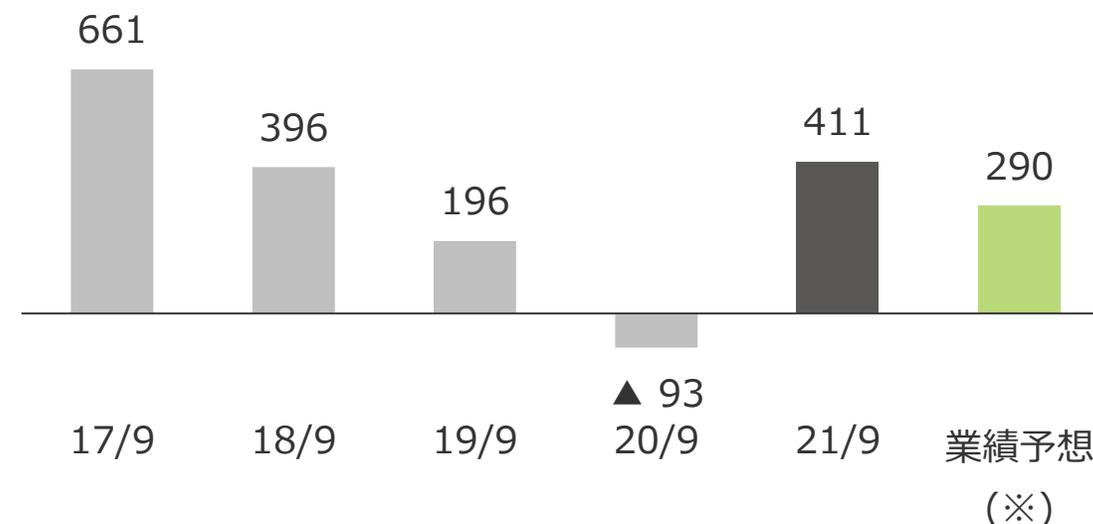
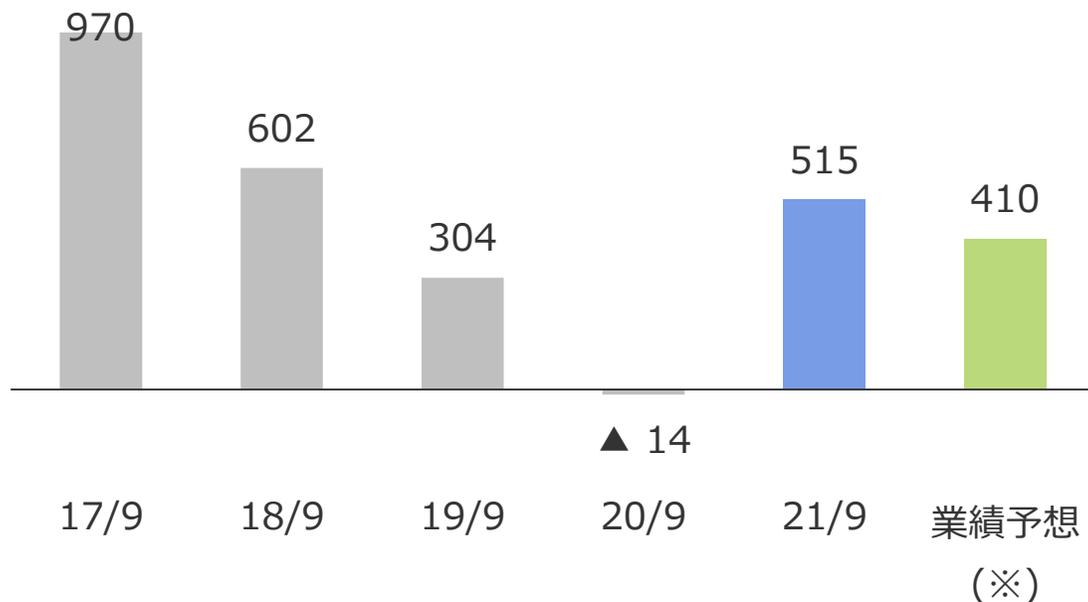


親会社株主に帰属する
四半期純利益

411百万円

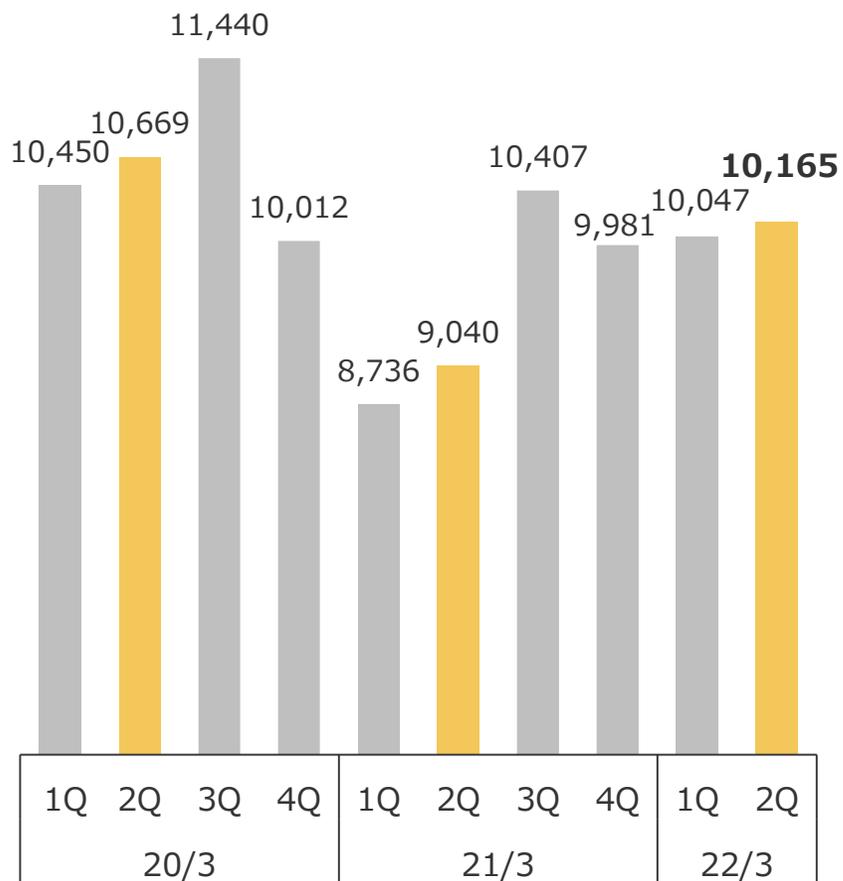
前年同四半期比 **+504**百万円 (**—%**)

業績予想比 **+121**百万円 (**+42.0%**)

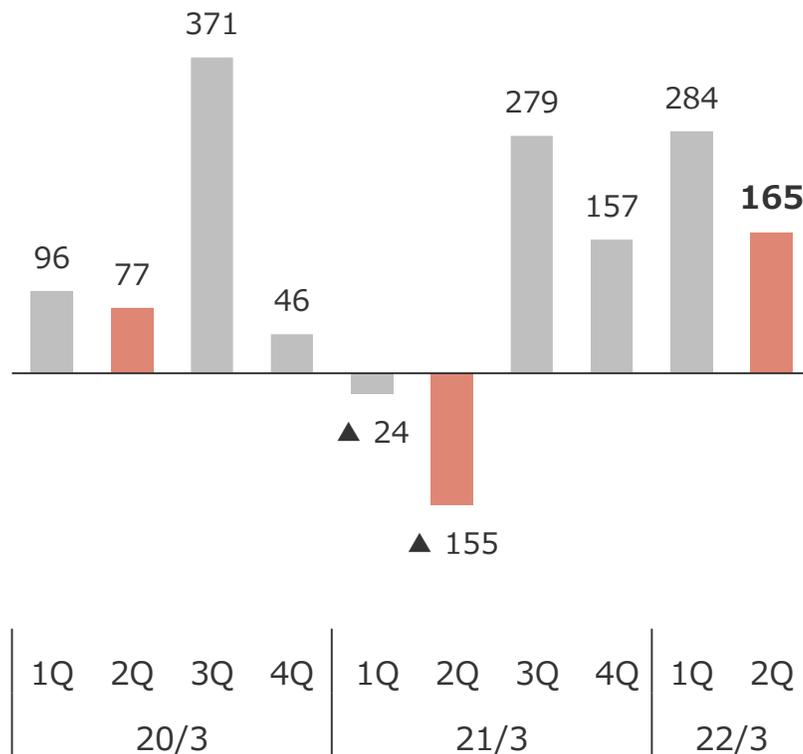


※21年5月19日公表 第2四半期(累計)業績予想値

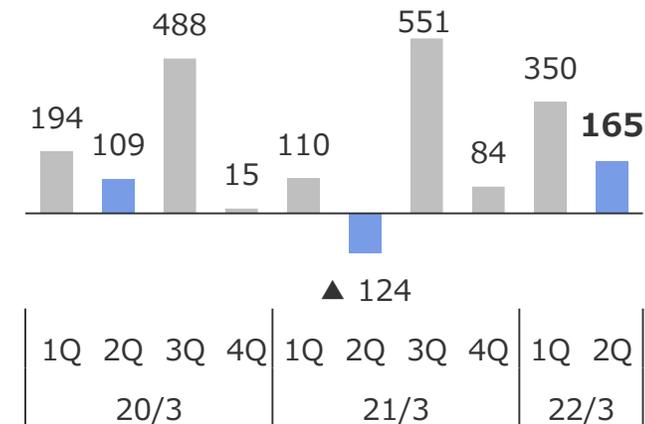
売上高



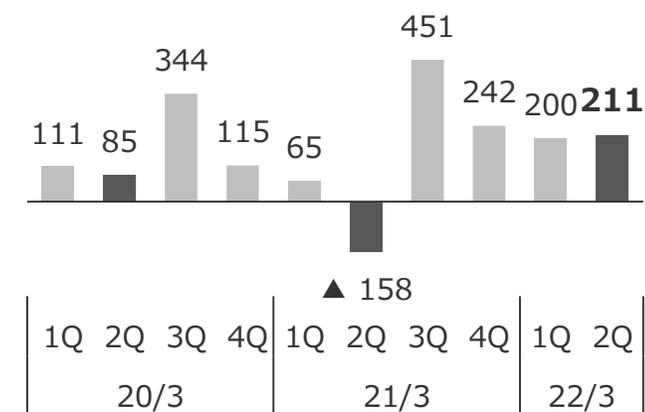
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



1. 連結業績ハイライト

■ 2. セグメントの概況

3. 業績予想に対する進捗状況

4. 連結貸借対照表

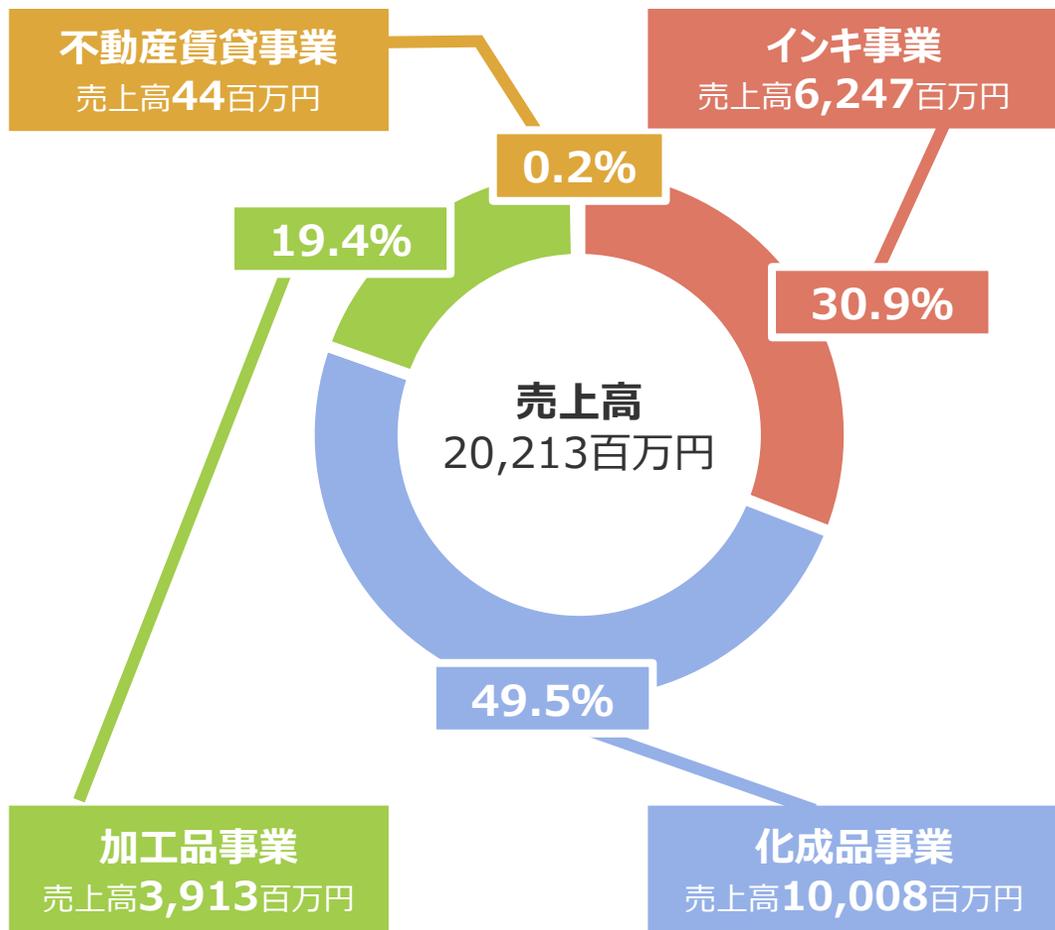
5. 株主還元情報

6. 設備投資状況について

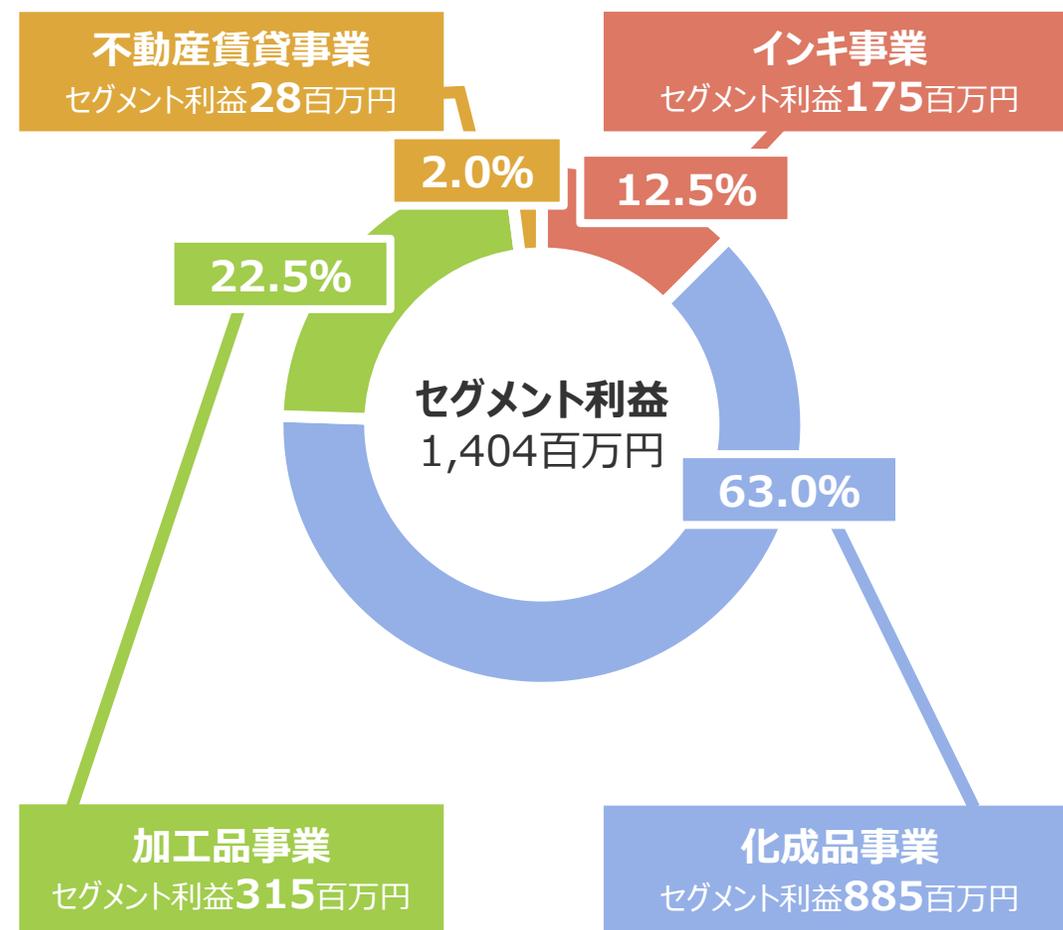
7. 次期中期経営計画について

- > 22年3月期第2四半期 セグメント別業績サマリー
- > 22年3月期第2四半期 売上高
 - > 22年3月期第2四半期 インキ事業
 - > 22年3月期第2四半期 化成品事業
 - > 22年3月期第2四半期 加工品事業
 - > 22年3月期第2四半期 不動産賃貸事業
- > 22年3月期第2四半期 セグメント利益
- > 今後の見通し

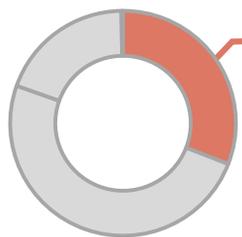
売上高



セグメント利益



(単位：百万円)



構成比
30.9%

6,247百万円

前年同四半期比 + 1,126百万円
(+22.0%)

コロナ影響からの回復や重点顧客への販売強化などにより増収

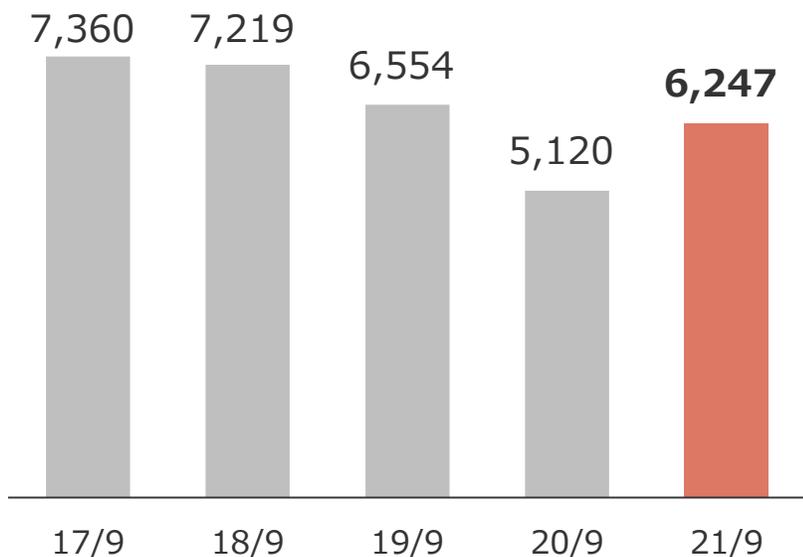
【オフセットインキ】
【グラビアインキ】

- ・印刷物市況（折込チラシ、旅行関連、イベント企画）が一部回復
- ・環境対応製品（ライスインキなど）が堅調に推移
- ・機能性製品（バリア剤など）が堅調に推移
- ・健康志向の高まりによりタバコ需要減少
- ・贈答、土産用途向け需要低迷

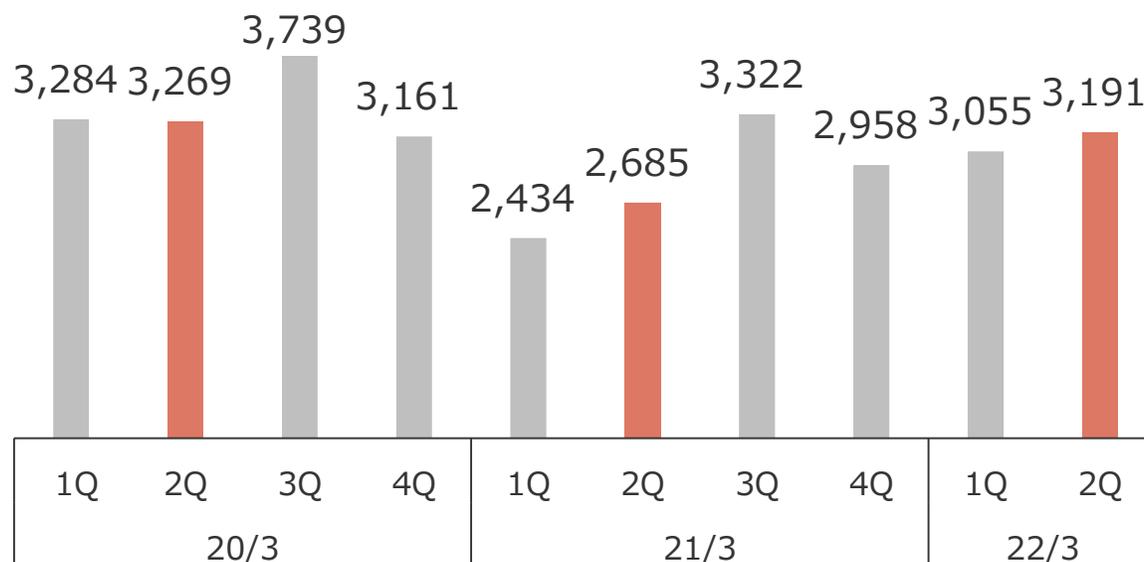
【インクジェットインク】

- ・北米、EU諸国向け受託製品の需要が一定回復
- ・建材用途製品の需要が一定回復

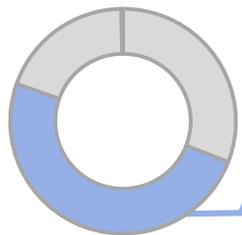
第2四半期 5年推移



四半期推移



(単位：百万円)



構成比
49.5%

10,008百万円

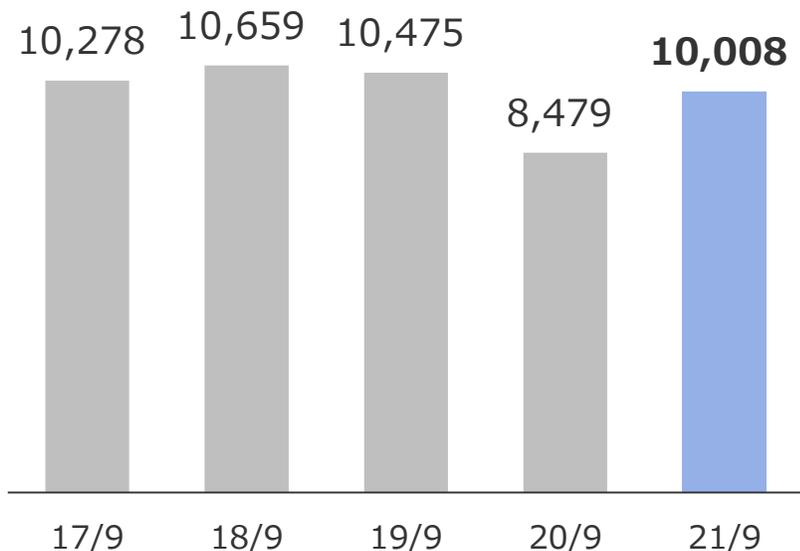
前年同四半期比 + 1,529百万円
(+ 18.0%)

コロナ影響からの回復や重点顧客への販売強化などにより増収

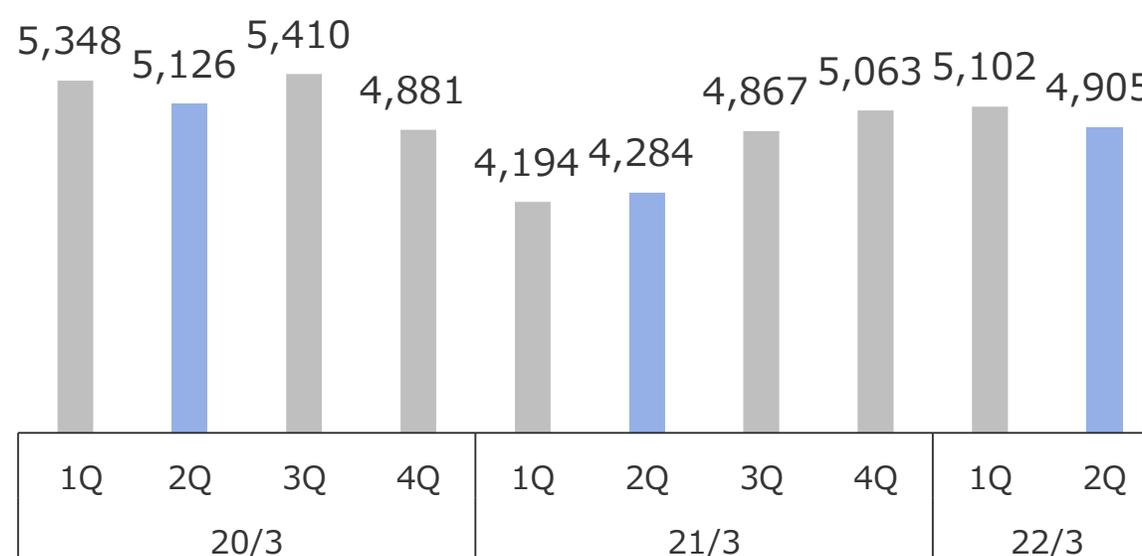
【マスターバッチ・樹脂コンパウンド】

- ・自動車用マスターバッチ・樹脂コンパウンドは第2四半期後半に半導体不足などにより自動車メーカー減産の影響受けるも累計では増収
- ・フィルム、容器用マスターバッチは生活用品などの需要が一定回復
- ・環境対応製品（生分解性樹脂用マスターバッチなど）が堅調に推移
- ・機能性付与添加剤マスターバッチが堅調に推移

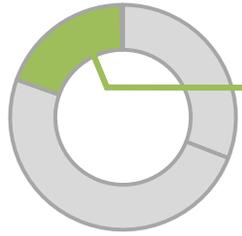
第2四半期 5年推移



四半期推移



(単位：百万円)



構成比
19.4%

3,913百万円

前年同四半期比▲242百万円
(▲5.8%)

土木資材の災害復旧需要が前年比減少した影響などにより減収

【ネトロン工材】

・水処理用資材の輸出需要が堅調に推移

【ネトロン包材】

・包装資材全般の需要が一定回復

【一軸延伸フィルム】

・包装資材全般の需要が一定回復も市場縮小継続

【土木資材】

・一部高収益製品は堅調に推移

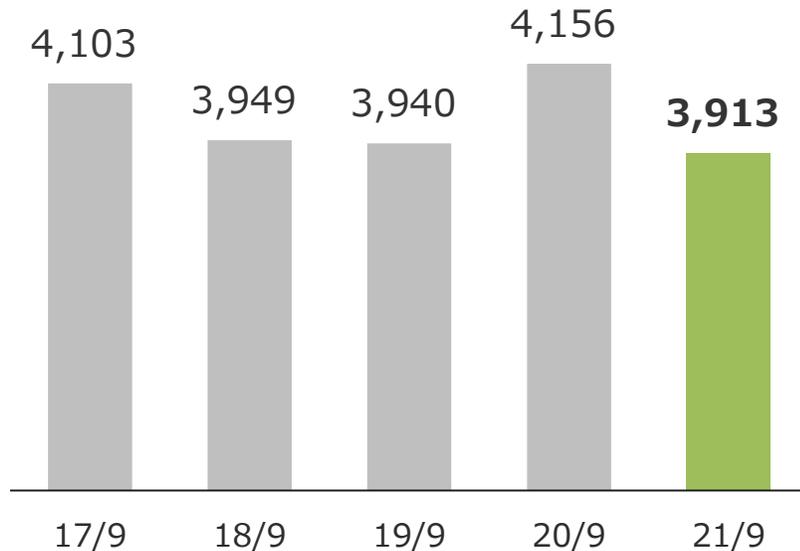
・災害復旧需要は前年比減少

【農業資材】

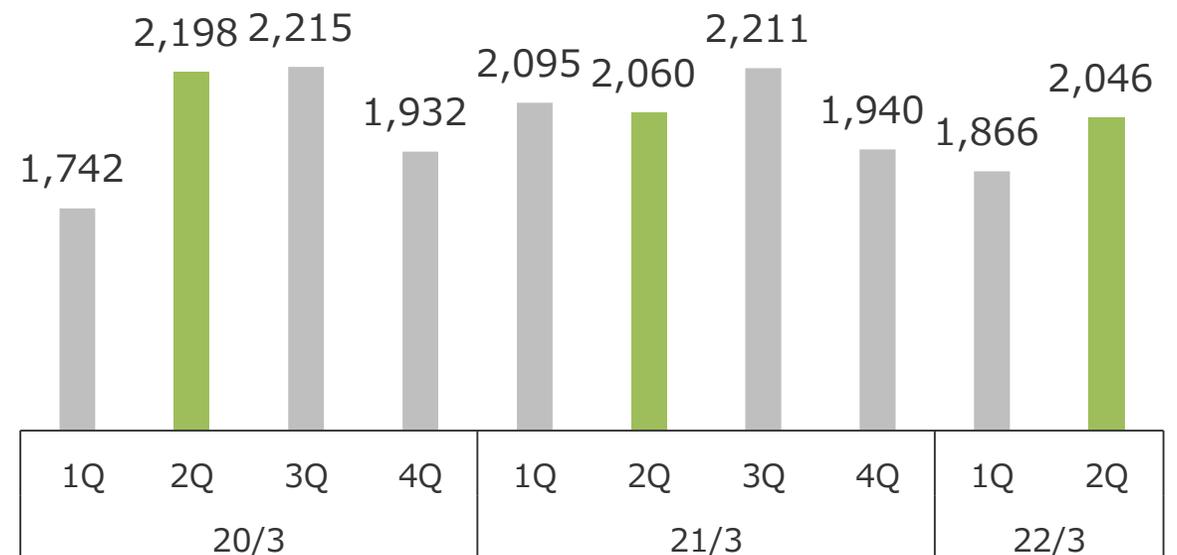
・新規開発製品が堅調に推移

・農業資材全般の需要が一定回復

第2四半期 5年推移



四半期推移



(単位：百万円)

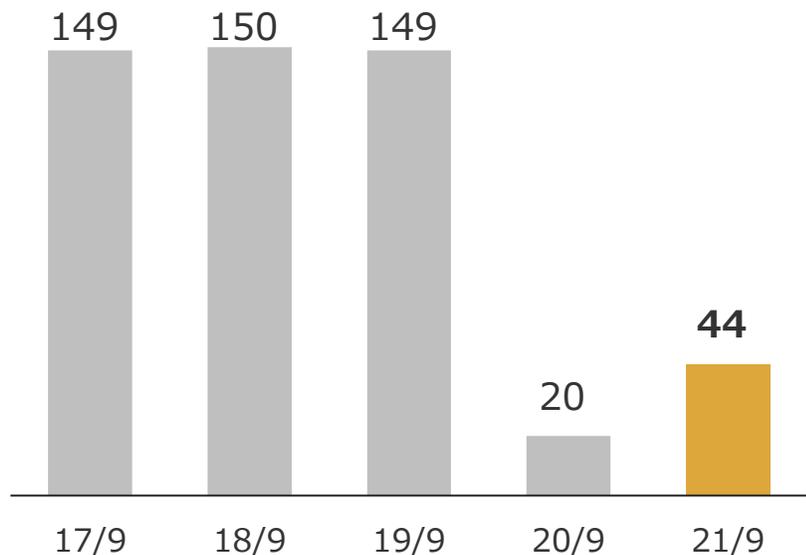


44百万円

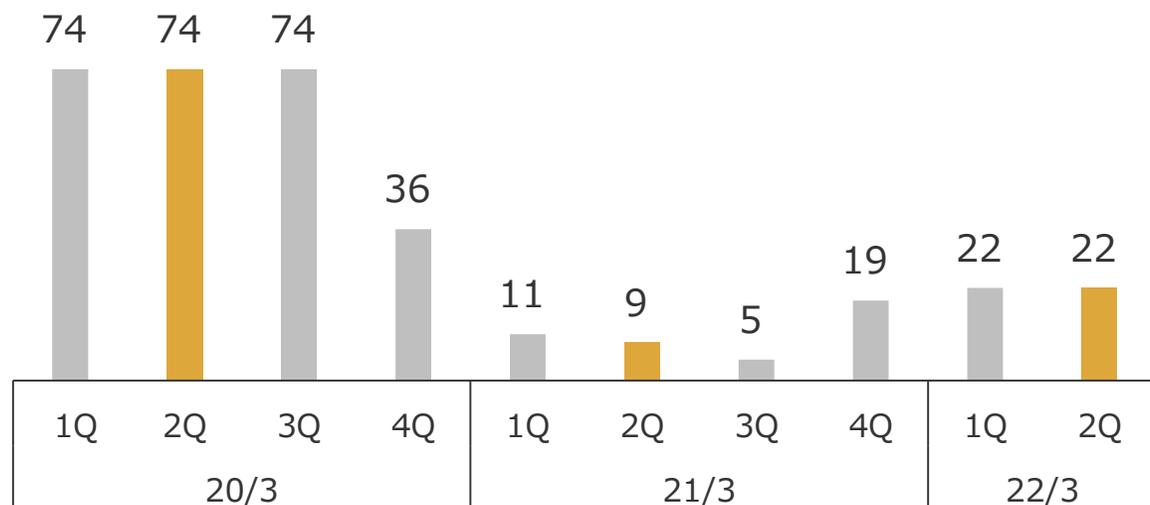
前年同四半期比 + 24百万円
(+ 121.3%)

昨年度竣工した戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」および
本社ビル賃貸オフィス稼働が堅調に推移し増収

第2四半期 5年推移



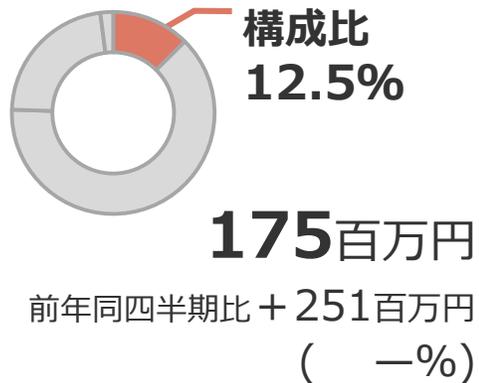
四半期推移



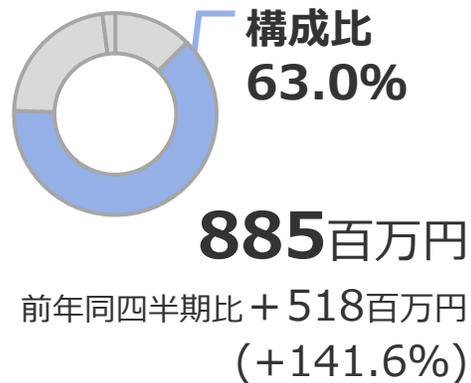
22年3月期第2四半期 セグメント利益

(単位：百万円)

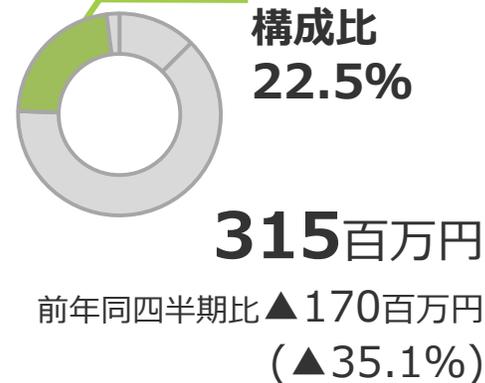
インキ事業



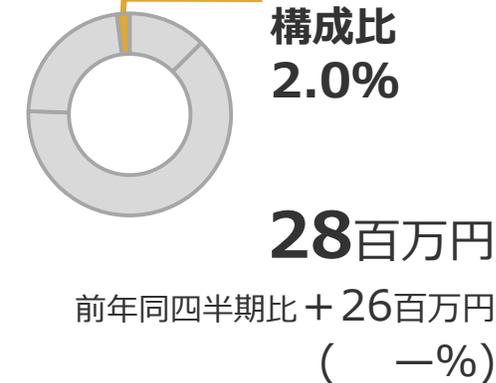
化成品事業



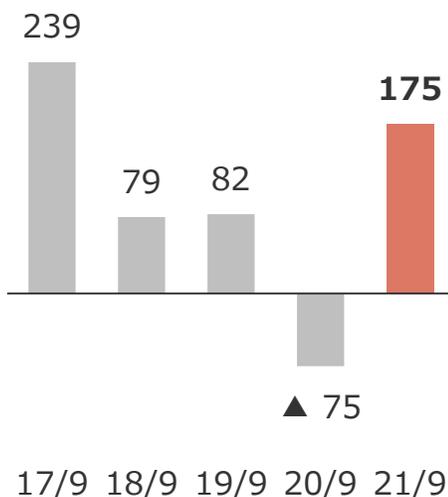
加工品事業



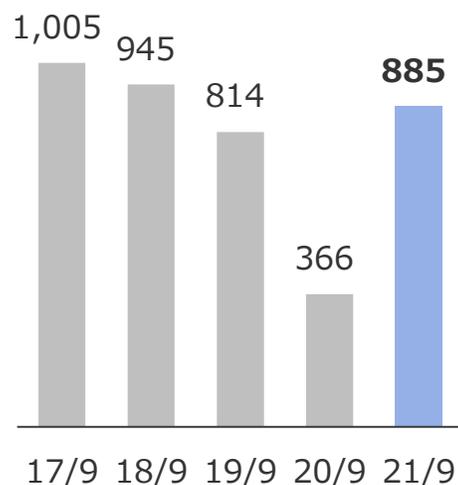
不動産賃貸事業



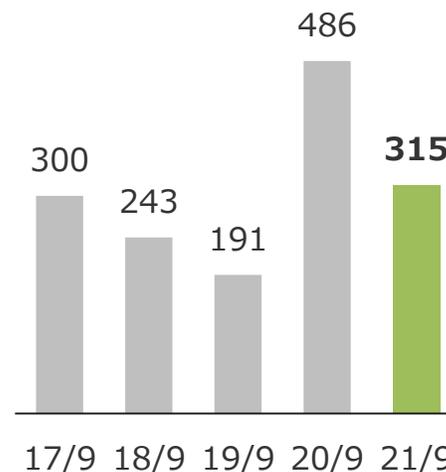
第2四半期 5年推移



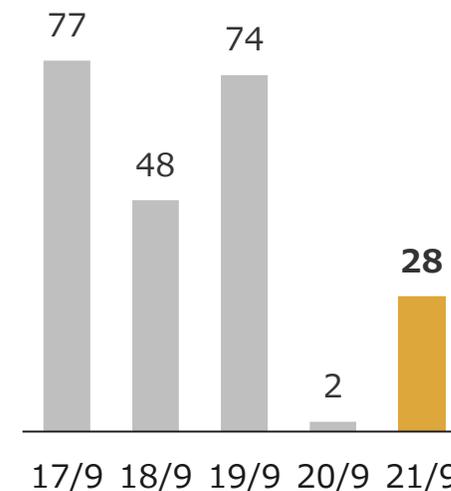
第2四半期 5年推移



第2四半期 5年推移



第2四半期 5年推移



今後の見通し

インキ事業

環境対応製品や機能性製品は引き続き、堅調に推移すると見込んでおります。繁忙期を迎えるオフセットインキは現在の経済活動が継続される場合、堅調に推移すると考えております。

化成品事業

半導体不足等の影響により落ち込んでいた国内自動車生産の挽回生産が計画通りに推移すれば、自動車用マスターバッチは回復すると見込んでおります。フィルム・容器用マスターバッチは現在の経済活動が継続される場合、堅調に推移すると考えております。

加工品事業

ネトロン水処理用途は堅調に推移することを見込んでおります。引き続き、土木資材のジオセル製品の販売強化などにより、収益の獲得に努めてまいります。

業績予想に対する進捗状況

(進捗率 = 当第2四半期実績 ÷ 通期業績予想)

インキ事業 売上高

通期業績予想
13,840百万円 進捗率**45.1%**

化成品事業 売上高

通期業績予想
20,160百万円 進捗率**49.6%**

加工品事業 売上高

通期業績予想
8,420百万円 進捗率**46.5%**

不動産賃貸事業 売上高

通期業績予想
90百万円 進捗率**49.4%**

1. 連結業績ハイライト

2. セグメントの概況

 **3. 業績予想に対する進捗状況**

4. 連結貸借対照表

5. 株主還元情報

6. 設備投資状況について

7. 次期中期経営計画について

売上高

通期業績予想
42,510百万円 進捗率 **47.6%**

営業利益

通期業績予想
800百万円 進捗率 **56.1%**

経常利益

通期業績予想
890百万円 進捗率 **58.0%**

親会社株主に
 帰属する
 当期純利益

通期業績予想
600百万円 進捗率 **68.6%**

プラス要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品価格改定 ● 新型コロナウイルス感染症落ち着きによる経済活動活性化 ● 環境対応製品の需要の伸長 ● 国内自動車挽回生産による自動車用マスターバッチ需要増
マイナス要因	<ul style="list-style-type: none"> ● 原油価格高騰や環境対応コスト上昇に伴う原材料価格の上昇 ● 国内外の物流コスト上昇 ● 中国の電力不足や環境規制等による原材料供給不安 ● 新型コロナウイルス感染症再拡大による経済活動停滞

第2四半期の時点で営業利益は通期連結業績見通しに対して、56%まで進捗しておりますが、今後、原材料価格の上昇や原材料供給不安の業績に与える影響が不透明であるため、前回発表数値（2021年5月19日公表）を据え置くことといたしました。
 今後、修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

(進捗率 = 当第2四半期実績 ÷ 通期業績予想)

1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. 業績予想に対する進捗状況

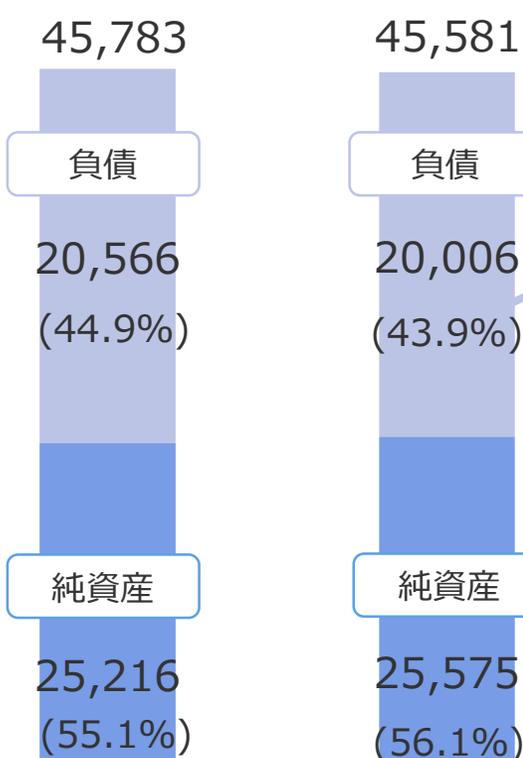
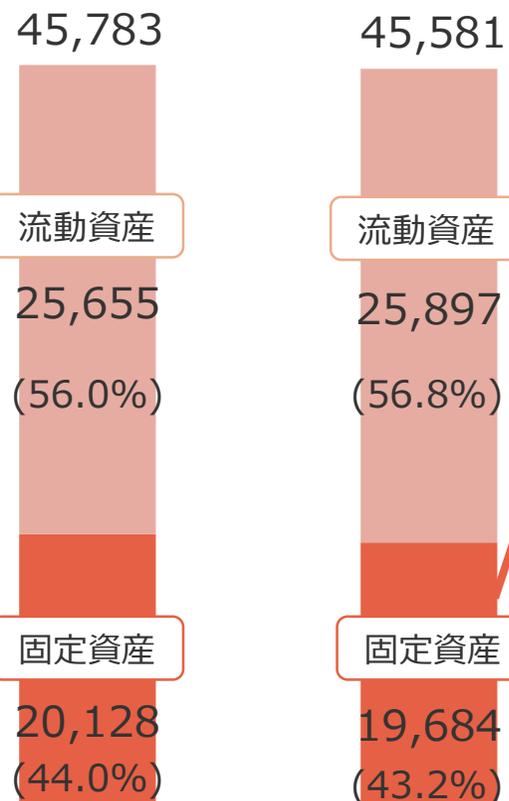
4. 連結貸借対照表

5. 株主還元情報
6. 設備投資状況について
7. 次期中期経営計画について

(単位：百万円)

資産の部

負債・純資産の部



資産

固定資産

投資有価証券の時価下落等による

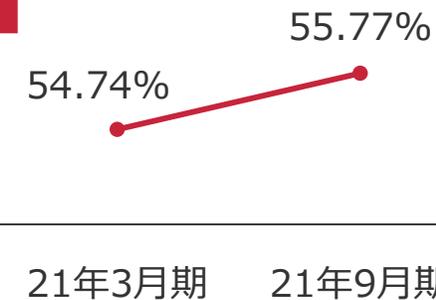
負債

借入金約定返済

純資産

コロナ影響で低迷の製品需要回復による利益確保

自己資本比率



21年3月期

21年9月期

21年3月期

21年9月期

1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. 業績予想に対する進捗状況
4. 連結貸借対照表

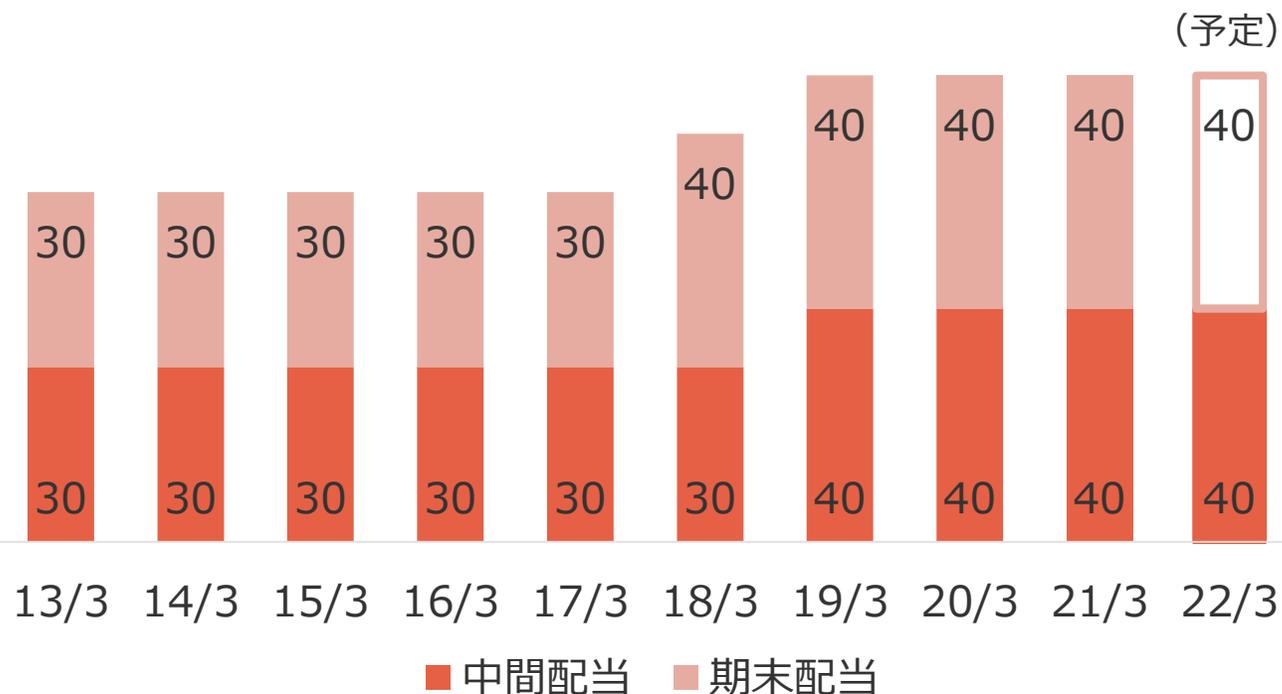
5. 株主還元情報

6. 設備投資状況について
7. 次期中期経営計画について

(単位：円)

経営基盤の強化ならびに今後の企業価値向上へ向けた内部留保を確保しつつ、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとし、安定かつ継続的に配当することを基本方針としております

配当金 推移



※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施
2017年3月期以前の配当金は遡及して修正

中間配当

- 22年3月期の中間配当金 **1株当たり40円**
- 配当支払開始予定日 **2021年12月2日**

年間配当

- **1株当たり80円**を予定としております

株主優待

- 毎年9月30日現在当社株式1单元(100株)以上を保有の株主様へ**オリジナルクオカード**を贈呈致します

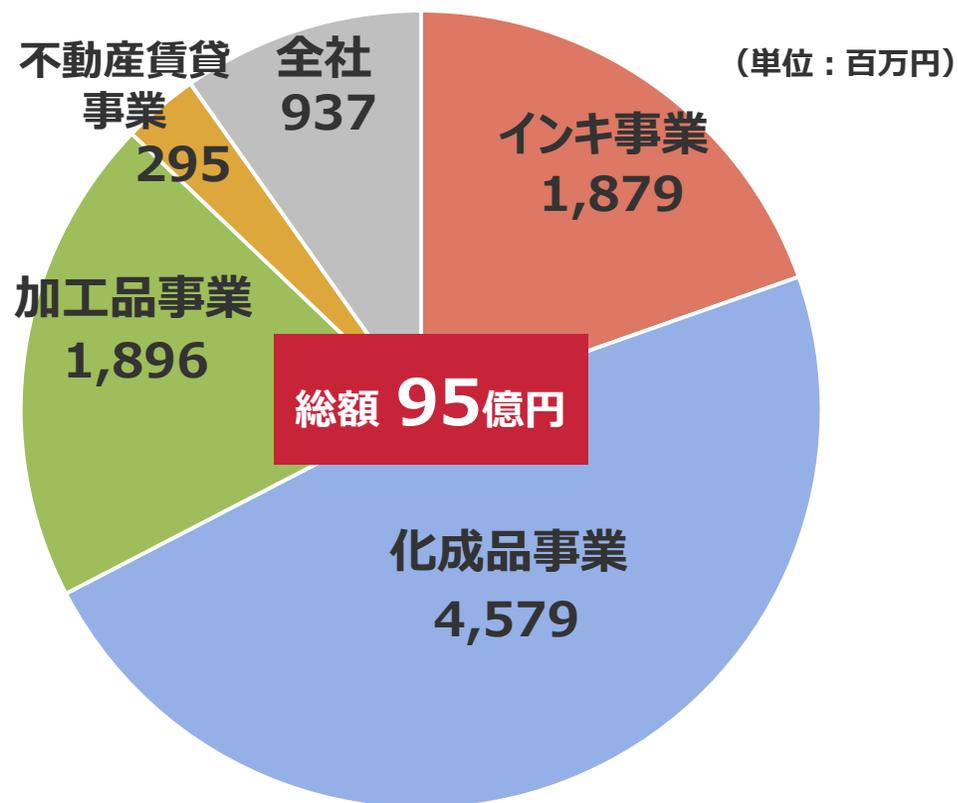


1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. 業績予想に対する進捗状況
4. 連結貸借対照表
5. 株主還元情報

6. 設備投資状況について

7. 次期中期経営計画について

中期経営計画 TOKYOink 2020 における設備投資額 総額 95 億円(※)



持続的に成長できる企業を目指し、生産体制の維持、強化を目的とした設備投資を実施

主要な大型投資案件

- ・大阪に化成品新工場を建設・稼働
- ・連結子会社トーイン加工にネトロン新工場を建設・稼働
- ・化成品生産拠点の吉野原、土岐で生産設備の更新・増強
- ・吉野原工場耐震補強工事
- ・グラビアインキ、インクジェット生産拠点の吉野原での設備更新
- ・技術開発設備導入（試作・製品開発・分析）
- ・業務システム刷新

(※)対象期間：2016年4月～2021年9月
金額：検収ベース

生産体制の再構築の一環として大阪工場に新棟を建設

- 20年10月竣工 現在、順調に稼働中
- 拡張性と生産合理性を追求
- 機能性コンパウンドやマスターバッチの生産を担う

新工場 外観



新工場 作業場



連結子会社であるトーイン加工(株)に新工場を建設

- 21年5月竣工 現在、順調に稼働中
- ネットロン工業資材生産設備を増設
- 従来のネットロン包装資材に加え、工業資材の製造も可能になったことで、ネットロンの主力工場に進化

新工場 外観



ネットロン工業製品製造設備 2ライン



新倉庫



1. 連結業績ハイライト
2. セグメントの概況
3. 業績予想に対する進捗状況
4. 連結貸借対照表
5. 株主還元情報
6. 設備投資状況について

7. 次期中期経営計画について

企業理念（ありたい姿）

「暮らしを彩る、暮らしに役立つものづくりで、社会に貢献する」

目指すべき企業像（あるべき姿）

「色彩を軸に、市場が求める価値をお客様と共に創造、実現し続ける企業」

次期中計で目指す方向性

- 市場が求める価値の追求 とりわけ環境・社会に優しい製品・サービスの提供
- 低成長時代にも耐えうる高効率な運営体制の実現

2022年度から始動させるべく、現在、次期中期経営計画の詳細について策定を進めており、策定完了後に改めて当社HP等にて公表することを予定しております

当社グループの「ありたい姿」「あるべき姿」を原点とし、企業に求められるESG課題への対応を強化することで、成長を加速させてまいります

【お問合せ先】

東京インキ株式会社 管理部門 理財部

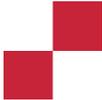
TEL : 03-5902-7652

FAX : 03-5390-4937

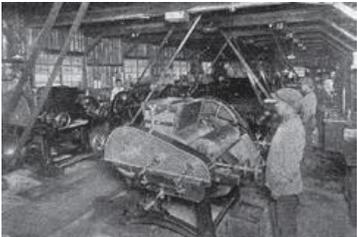
E-mail : tic-ir@tokyoink.co.jp

<https://www.tokyoink.co.jp/>





参考情報

会社名	上場区分 (証券コード)	東京証券取引所市場第二部 (4635)
東京インキ株式会社	本社住所	東京都北区王子一丁目12番4号TIC王子ビル
代表取締役社長	設立	1923年 (大正12年) 12月
堀川 聡	資本金	32億4,612万円
2021年12月にて 設立 98周年	主要な事業	<ul style="list-style-type: none">● インキ事業 【主要製品】 オフセットインキ/グラビアインキ/インクジェットインク● 化成品事業 【主要製品】 着色剤マスターバッチ/機能性付与添加剤マスターバッチ/着色コンパウンド/機能性コンパウンド● 加工品事業 【主要製品】 ネットロン/一軸延伸フィルム/土木資材/農業資材● 不動産賃貸事業 北区王子本社ビル フロア賃貸/ 埼玉県さいたま市戸建賃貸住宅「パレットパークタウン」 ほか
	従業員数	(連結) 729人 / (単体) 601人 (2021年9月末時点)
		

支店 営業所

- 札幌営業所
- 仙台営業所
- 新潟営業所
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 広島営業所
- 高松営業所
- 福岡支店

工場

- 吉野原工場
- 羽生工場
- 土岐工場
- 大阪工場
- 福岡工場

連結 子会社

国内

- 林インキ製造株式会社
- 荒川塗料工業株式会社
- 英泉ケミカル株式会社
- ハヤシ化成工業株式会社
- トーイン加工株式会社
- 東洋整機樹脂加工株式会社

海外



東京インキ(タイ)

- 東京インキ株式会社U.S.A.
- 東京油墨貿易(上海)有限公司
- 東京インキ(タイ)株式会社



羽生工場



吉野原工場



土岐工場



大阪工場



福岡工場



本社



福岡支店



大阪支店



名古屋支店



主要製品

オフセットインキ

グラビアインキ

インクジェットインク



暮らしの中で…

新聞の折り込みチラシや雑誌、カタログの印刷に

商業印刷



お菓子袋やトレーなどの食品包装に

パッケージ



住宅外壁の意匠に

住宅外壁



主要製品

着色剤マスターバッチ



機能性付与添加剤
マスターバッチ



着色コンパウンド

機能性コンパウンド



暮らしの中で...

生活用品

シャンプーボトルやペットボトルのキャップなどの容器、
ショッピングバッグの着色に



自動車

自動車内外装の着色に



農業

農業資材の着色や
機能性付与に



主要製品

ネトロン

一軸延伸フィルム

土木資材

農業資材



暮らしの中で...

包装資材

お菓子や野菜・果物の包装に



土木資材

道路の落石や土砂崩れ防止に



農業資材

ハウス部材に



水処理

水処理用資材に

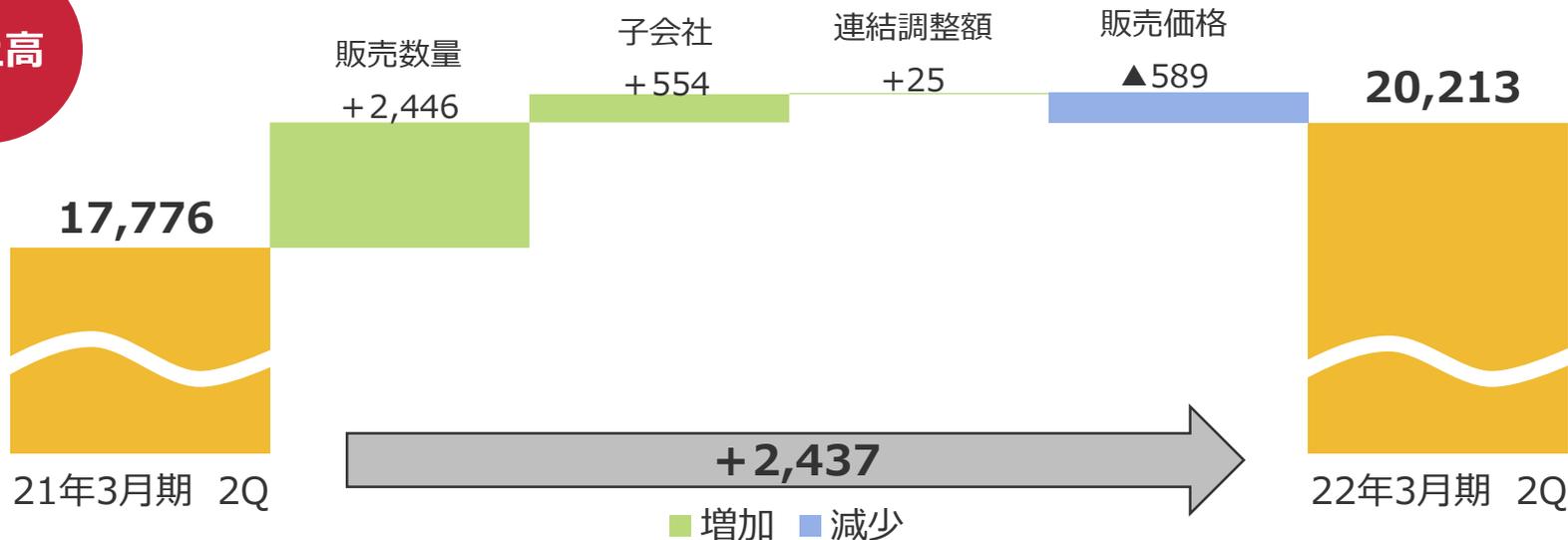


（単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間	構成比 (%)	当第2四半期 連結累計期間	構成比 (%)	増減額	増減率 (%)	参考 第2四半期業績予想 21年5月19日公表値	増減
売上高	17,776	100.0	20,213	100.0	+2,437	13.7	20,650	▲436
売上原価	15,072	84.8	16,780	83.0	+1,708	11.3	-	-
売上総利益	2,703	15.2	3,432	17.0	+729	27.0	-	-
販売費及び一般管理費	2,883	16.2	2,983	14.8	+100	3.5	-	-
営業利益(損失)	▲ 179	▲ 1.0	449	2.2	+628	-	350	+99
営業外損益	165	0.9	66	0.3	▲ 98	▲ 59.7	-	-
経常利益(損失)	▲ 14	▲ 0.1	515	2.6	+530	-	410	+105
親会社株主に帰属する 四半期純利益(損失)	▲ 93	▲ 0.5	411	2.0	+504	-	290	+121

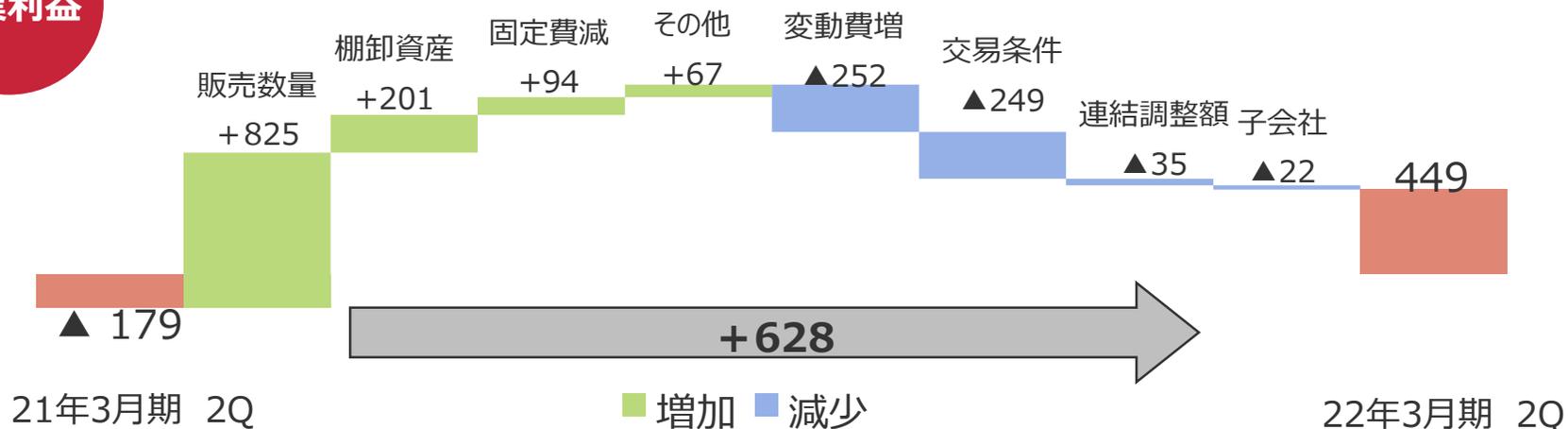
売上高

(単位：百万円)



販売復調による数量増加に加え、前期に株式取得し連結子会社化した荒川塗料工業(株)が寄与

営業利益



販売数量増加に伴う変動費増や販売構成変化の影響があったものの、数量の増加、全社的なコストダウンによる合理化効果が牽引し大幅増益

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計期間	
	20/4～6	21/4～6	20/7～9	21/7～9	20/4～20/9	21/4～21/9
売上高	8,736	10,047	9,040	10,165	17,776	20,213
営業利益(損失)	▲ 24	284	▲ 155	165	▲ 179	449
経常利益(損失)	110	350	▲ 124	165	▲ 14	515
親会社株主に帰属する 四半期純利益(損失)	65	200	▲ 158	211	▲ 93	411

(単位：百万円)

報告セグメント	売上高				セグメント利益			
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
インキ事業	5,120	6,247	+1,126	22.0	▲ 75	175	+251	-
化成品事業	8,479	10,008	+1,529	18.0	366	885	+518	141.6
加工品事業	4,156	3,913	▲ 242	▲ 5.8	486	315	▲ 170	▲ 35.1
不動産賃貸事業	20	44	+24	121.3	2	28	+26	-
セグメント合計	17,776	20,213	+2,437	13.7	778	1,404	+625	80.3
全社費用他 ※					▲ 958	▲ 955	+3	-
連結営業利益(損失)					▲ 179	449	+628	-

※全社費用は主に事業セグメントに属さない一般管理費

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計期間	
	20/4～6	21/4～6	20/7～9	21/7～9	20/4～20/9	21/4～21/9
インキ事業	2,434	3,055	2,685	3,191	5,120	6,247
化成品事業	4,194	5,102	4,284	4,905	8,479	10,008
加工品事業	2,095	1,866	2,060	2,046	4,156	3,913
不動産賃貸事業	11	22	9	22	20	44
セグメント合計	8,736	10,047	9,040	10,165	17,776	20,213

（単位：百万円）

	第1四半期		第2四半期		第2四半期累計期間	
	20/4～6	21/4～6	20/7～9	21/7～9	20/4～20/9	21/4～21/9
インキ事業	▲ 22	100	▲ 53	75	▲ 75	175
化成品事業	215	490	150	394	366	885
加工品事業	258	159	227	156	486	315
不動産賃貸事業	7	14	▲ 5	14	2	28
セグメント利益	459	764	319	639	778	1,404
全社費用他	▲ 483	▲ 480	▲ 475	▲ 474	▲ 958	▲ 955
連結 営業利益(損失)	▲ 24	284	▲ 155	165	▲ 179	449

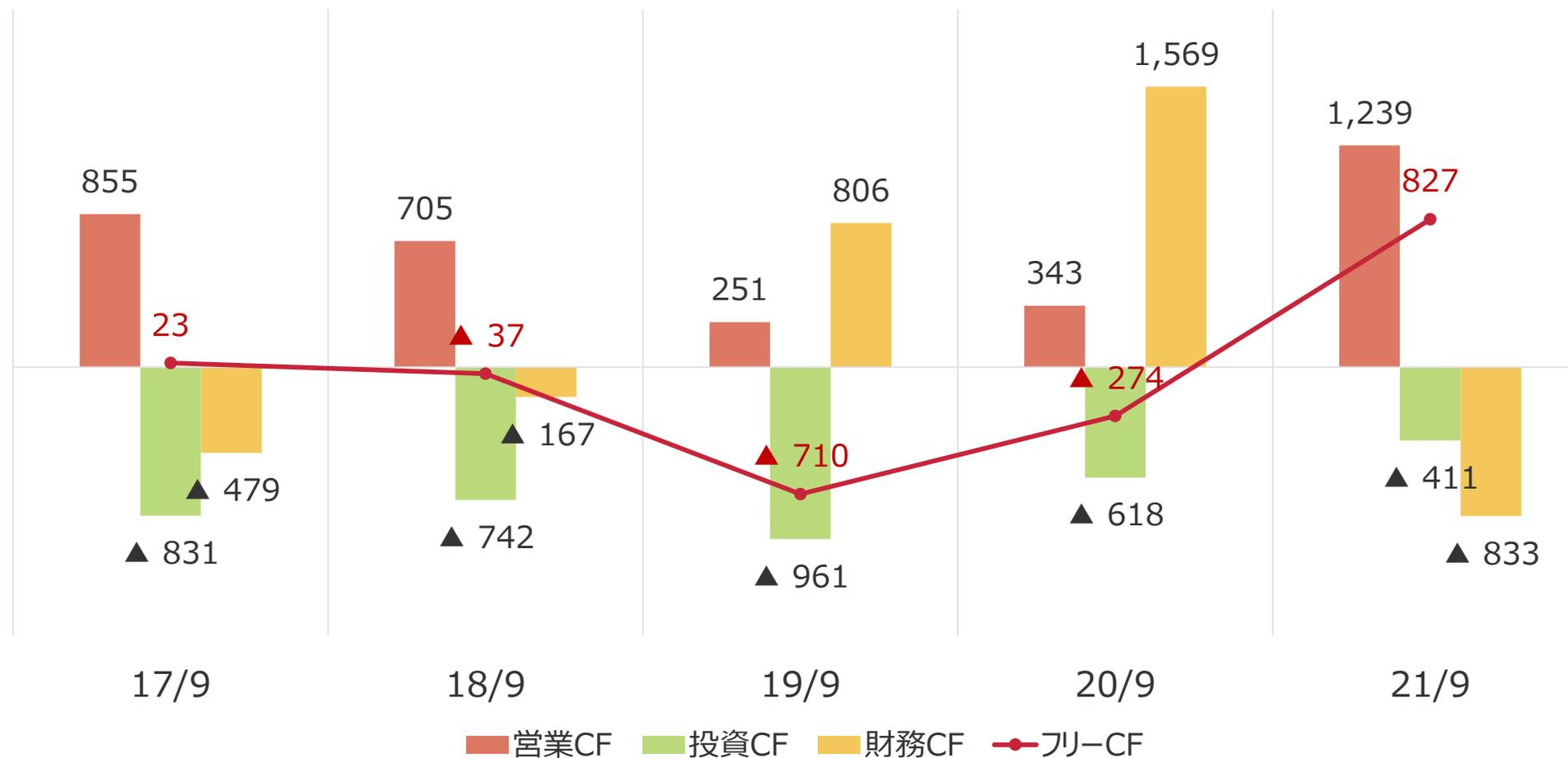
(単位：百万円)

	前連結 会計年度末	当第2四半期 連結会計期間	増減額	増減率 (%)
流動資産	25,655	25,897	+242	0.9
固定資産	20,128	19,684	▲ 443	▲ 2.2
有・無形固定資産	14,636	14,622	▲ 13	▲ 0.1
投資その他	5,492	5,062	▲ 429	▲ 7.8
資産合計	45,783	45,581	▲ 201	▲ 0.4
流動負債	15,032	15,179	+147	1.0
固定負債	5,533	4,827	▲ 706	▲ 12.8
負債合計	20,566	20,006	▲ 559	▲ 2.7
純資産合計	25,216	25,575	+358	1.4
(自己資本比率)	54.74%	55.77%	+1.03%	-
負債・純資産合計	45,783	45,581	▲ 201	▲ 0.4

(単位：百万円)

摘要	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額
I.営業活動によるキャッシュ・フロー(A)	343	1,239	+895
II.投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	▲618	▲411	+206
フリーキャッシュ・フロー(A+B)	▲274	827	+1,102
III.財務活動によるキャッシュ・フロー	1,569	▲833	▲2,402
現金同等物の期首残高	1,576	3,161	+1,585
現金同等物の期末残高	2,863	3,175	+312

(単位：百万円)



- 本資料は、投資家の皆様に会社内容の理解を深めて頂くための資料であり、投資勧誘を目的としたものではありません
- 記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません
また、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります
投資に関する決定は、ご自身のご判断と責任において行われるようお願い致します

TOKYO ink

